

5. 医学部医学科試験並びに履修等に関する内規

(趣 旨)

第1条 この内規は、岡山大学医学部規程第23条に基づき岡山大学医学部医学科（以下「医学科」という。）における教養教育科目及び専門教育科目の試験、履修並びに進級等に関する事項について定めるものとする。

(授業科目、単位数及び履修方法等)

第2条 医学科における授業科目、単位数、時間数、開講期及び履修方法等は、別表1及び別表2のとおりとする。

(教養教育科目の試験)

第3条 教養教育科目の試験は、岡山大学教育開発センターの定めるところによる。

(専門教育科目の試験)

第4条 専門教育科目の試験は、以下の定めるところにより行う。

(試験の区分)

第5条 専門教育科目の試験は、本試験、再試験、追試験とし、各授業科目の担当教員がこれを行う。

(試験の時期)

第6条 専門教育科目の試験実施の時期は、別表3のとおりとする。

(本試験)

第7条 学生は、各授業科目につき総時数の3分の2以上出席しなければ本試験を受けることができない。

(再試験)

第8条 本試験に不合格となった者は、別表3に示すとおりなお1回再試験を受けることができる。

(追試験)

第9条 病気その他止むを得ない事情により受験を延期しようとする者は、医師の診断書若しくは理由書を添えて、原則として試験実施前に医学科長に願い出て許可を得なければならない。

2 本試験の延期を許可された者は、再試験実施前までに当該科目の追試験を受けることができる。

3 再試験の延期を許可された者は、再試験を実施した学期中（学期末に実施した再試験については次学期中）に追試験を受けることができる。

(不合格者の扱い)

第10条 第8条及び第9条第3項の試験に不合格となった者は、原則として次年度以降でなければ受験できない。

(成績の判定)

第11条 成績の評価は、岡山大学学則による。

第12条 再試験の成績は担当教員において減点する。その基準は2割を原則とする。

(第3学年への進級)

第13条 第3学年に進級できる者は、第2条別表1及び別表2に掲げる第1学年及び第2

学年における教養教育科目及び専門教育科目のうちから卒業に必要な単位を修得した者とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、基礎病態演習を除く専門科目で、試験に合格していない科目が1科目以内の者は、専門科目全科目の試験に合格した者と同等に扱うことができる。

また、上記条件を満たさない場合は、第2学年に留まり、2年次配当の全科目（実習・演習は除く）を必ず再受講することとする。

なお、試験受験科目は、不合格科目のみとする。

（第4学年への進級）

- 第14条 第4学年に進級できる者は、2年次と3年次に配当された専門科目の全ての単位を修得したものとする。ただし、教室配属及び基礎病態演習以外の3年次配当科目のうち未修得の科目が2科目以内の場合、進級を認めることができる。

また、上記条件を満たさない場合は、第3学年に留まり、2年次及び3年次配当の全科目（実習・演習は除く）を必ず再受講することとする。

なお、試験受験科目は、不合格科目のみとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、第3年次に編入学した者の進級要件は、別に定める。

（第5学年への進級）

- 第15条 第5学年に進級できる者は、基礎医学の試験〔社会医学系3科目（衛生学、公衆衛生学及び法医学）を除く〕、医事法、生命倫理学、総論（医療の基本を含む）及び臓器・系別統合講義試験、臨床実技入門試験並びに次項に掲げる全国共用試験に合格した者とする。

なお、総論及び臓器・系別統合講義試験において、不合格科目のあった者は、翌年度も第4年次にとどまり、総論及び臓器・系別統合講義の全系（科目）を再受講、再受験しなければならない。

また、全国共用試験に不合格になった者は、総論及び臓器・系別統合講義を必ず受講することとする。

- 2 臨床実習開始前に必要な知識・技能・態度を評価する試験として、全国共用試験の受験を課す。合格基準は、全国の標準を参考にして本学で定める。

（退学の勧告）

- 第16条 病気その他やむを得ない事由もなく、第13条から第15条の規定により同一学年での在学期間が3年を越える者には、退学を勧告する。

（卒業）

- 第17条 卒業の判定は、医学科の教育課程を6年以上履修した者について、第2条別表1及び別表2に掲げるガイダンス科目、主題科目、個別科目、外国語科目、専門基礎科目及び専門科目の修得単位並びに全国共用試験の結果に基づき、医学科会議の議を経て行う。

（卒業及び進級の認定の時期）

- 第18条 卒業、進級及び臨床実習出席の可否は原則として学年末に認定する。

附 則

1. この内規は、平成16年4月1日から施行する。
2. 平成15年度以前入学者は、なお、従前の例による。

附 則

1. この内規は、平成17年4月1日から施行する。
2. 改正後の規定にかかわらず、平成16年度以前の入学者については、なお従前の例による。
3. 前項の規定にかかわらず、改正後の第15条の規定は、平成14年度入学者から適用する。

附 則

1. この内規は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
2. 改正後の規定にかかわらず、平成 17 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

1. この内規は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
2. 改正後の規定にかかわらず、平成 18 年度以前の入学者については、なお従前の例による。
3. 前項の規定にかかわらず、改正後の第 15 条の規定は、平成 18 年度以前の入学者についても適用する。

附 則

1. この内規は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
2. 改正後の規定にかかわらず、平成 19 年度以前の入学者については、なお従前の例による。
3. 前項の規定にかかわらず、改正後の第 13 条及び第 14 条第 1 項は、平成 20 年度以降の第 2 学年についても適用する。
4. 第 2 項の規定にかかわらず、改正後の第 15 条の授業科目名及び別表 2 及び 3 の授業科目名及び履修学年は、平成 19 年度以前の入学者についても適用する。

別表 1 (教養教育科目の授業科目、単位数及び履修方法等)

科目区分		授 業 科 目 群	開 講 期				単位数及び履修要件			卒 業 要 件 単位数
			1 学年		2 学年		必修 単位	選択 必修 単位	履修要件	
			前 期	後 期	前 期	後 期				
ガイダンス科目		医学セミナー	○				2			2
		チーム医療演習	○		○				保健学科開講科目	
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目	○	○	○		6	4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を修得すること。	6	
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目	○	○	○					
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目	○	○	○					
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目	○	○	○					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目	○	○	○				43	
	自然科学	自然科学系科目	○	○	○			10 単位以上（化学、物理学、生物学の各実験の中から2 単位以上を含む）を修得することが望ましい。		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学	○	○				履修することが望ましい。		
		スポーツ実習（A,B,C,D,E,F）	○	○				運動部に所属しない者は履修することが望ましい。		
	情報科学	情報処理入門	○					履修することが望ましい。		
外 国 語 科 目	英 語	英語（医学英語）		○	○		4		外部検定の単位振替えを含む。ただし、医学英語4単位は必ず履修すること。	16
		英語（ネイティブ）	○				2			
		英語（オラコン）、 英語（読解）、 英語（検定）、 英語（作文・文法）		○	○		4		英語（オラコン）、英語（読解）、英語（検定）のうちから選択	
		基礎英語							卒業要件外単位	
		上級英語	○	○	○		6	初修外国語を履修する場合、1語種の初級について1年次の前期・後期に各2コマ、計8単位を修得することが望ましい。		
	ドイツ語	ドイツ語初級	○	○						
		ドイツ語中級			○					
	フランス語	フランス語初級	○	○						
		フランス語中級			○					
	中国語	中国語初級	○	○						
		中国語中級			○					
	朝鮮語	韓国語初級	○	○						
		韓国語中級								
	ロシア語	ロシア語初級								
		ロシア語中級								
	スペイン語	スペイン語初級								
		スペイン語中級								
	イタリア語	イタリア語初級								
		イタリア語中級								
	日本語	日本語（A,B,C,D,E）	○	○	○		6		留学生用	
										45

医学部医学科試験並びに履修等に関する内規

別表2 (専門教育科目の授業科目、単位数及び履修方法等)

区分	授業科目	単位数	必修 選択 の別	履修学年及び時間数												履修 要件 等	卒業 要件 単位数
				1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎科目	医学生物学	2	選必	30												12 単位以上修得すること	12
	基礎医学入門	2	選必		30												
	医学概論Ⅰ	1	選必	15													
	医学概論Ⅱ	1	選必		15												
	遺伝学	1	選必		15												
	臨床医学入門	2	選必		30												
	基礎放射線学	1	選必			15											
	発生学	1	選必			15											
	医学統計学	2	選必			30											
	人体の構造：入門	2	選必			30											
	細胞生物学Ⅰ	1	選必		15												
	細胞生物学Ⅱ	1	選必		15												
専門科目	早期体験実習	0.5	必修	30												179.5	
	細胞組織学	2	必修				30										
	細胞組織学実習	1	必修				60										
	人体解剖学	2	必修					30									
	系統解剖学実習	3.5	必修					200									
	神経構造学	2	必修					30									
	神経構造学実習	1	必修					60									
	生理学Ⅰ	3	必修				45										
	生理学Ⅰ実習	0.5	必修				30										
	生理学Ⅱ	3	必修				45										
	生理学Ⅱ実習	0.5	必修				30										
	生化学・分子医化学	6	必修				90										
	生化学・分子医化学実習	1	必修				60										
	薬理学	4	必修					60									
	薬理学実習	0.5	必修					30									
	病理学Ⅰ	3	必修					45									
	病理学Ⅰ実習	1	必修						60								
	病理学Ⅱ	3	必修					45									
	病理学Ⅱ実習	1	必修						60								
	細菌学	3	必修					45									
	細菌学実習	0.5	必修					30									
	ウイルス学	3	必修					45									
	ウイルス学実習	0.5	必修					30									
	生体防御医学	4	必修					60									
	生体防御医学実習	0.5	必修					30									
	教室配属	8.5	必修						500								

医学部医学科試験並びに履修等に関する内規

区分	授 業 科 目	単 位 数	必修 選択 の別	履修学年及び時間数												履修 要件 等	卒業 要件 単 位 数
				1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年			
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
専 門 科 目	基 本 臨 床 実 習	整 形 外 科 学	1	必修										56			
		皮 膚 科 学	1	必修										56			
		泌 尿 器 科 学	1	必修										56			
		眼 科 学	1	必修										56			
		耳 鼻 咽 喉 科 学	1	必修										56			
		放 射 線 医 学	1	必修										56			
		産 科 婦 人 科 学	2	必修										108			
		麻 酔 ・ 蘇 生 学	1	必修										56			
		脳 神 経 外 科 学	1	必修										56			
		総 合 診 療 内 科 ・ 臨 床 検 査 医 学	1	必修										56			
		循 環 器 内 科 学	1	必修										56			
		心 臓 血 管 外 科 学	1	必修										56			
		神 経 内 科 学	1	必修										56			
		小 児 神 経 学	1	必修										56			
		救 急 医 学	1	必修										56			
	形 成 外 科 学	1	必修										56				
	選 択 制 臨 床 実 習		8	選必										432		4 単位以上修得すること (4期からなり、 1期各3週2単位)	4
	症 候 別 ・ 課 題 別 統 合 講 義		5.5	必修									92			2 単位以上修得すること	2
	各 科 臨 床 講 義		3.5	必修									56				
	老 年 医 学		1	選必									16				
	臨 床 薬 理 学 ・ 薬 剤 学		1	選必									16				
	生 命 倫 理 学		1	必修						16							
	医 療 管 理 学		1	選必										16			
	緩 和 医 療 学		1	選必										16			
	東 洋 医 学		1	選必										16			

別表 3

試 験 期 一 覧 表

区分	学 年		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		5 年次		6 年次	
	学	期	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	医 学 生 物 学		AB											
	基 礎 医 学 入 門			AB										
	医 学 概 論 I		AB											
	医 学 概 論 II			AB										
	遺 伝 学			AB										
	臨 床 医 学 入 門			AB										
	基 礎 放 射 線 学				AB									
	発 生 学				AB									
	医 学 統 計 学				AB									
	人 体 の 構 造 : 入 門				AB									
	細 胞 生 物 学 I			AB										
	細 胞 生 物 学 II			AB										
専門科目	早 期 体 験 実 習		C											
	細 胞 組 織 学					AB								
	人 体 解 剖 学						AB							
	神 経 構 造 学						AB							
	生 理 学 I					AB								
	生 理 学 II					AB								
	生 化 学 ・ 分 子 医 化 学					AB								
	薬 理 学							AB						
	病 理 学 I								AB					
	病 理 学 II								AB					
	細 菌 学							AB						
	ウ イ ル ス 学							AB						
	生 体 防 御 医 学						AB							
	教 室 配 属							C						
	基礎 病態 演習	分 子 病 態 系				C								
		先 端 医 学 系				C								
		病 理 学 系						C						
	衛 生 学											A		B
	公 衆 衛 生 学											A		B
	法 医 学									AB				
	内 科 総 論									AB				
	外 科 総 論									AB				
	臨 床 放 射 線 総 論									AB				

〔備考〕

A → 本試験

B → 再試験

C → 出席率及びレポート又は口頭試問により成績を認定する。

医学部医学科試験並びに履修等に関する内規

[illegible]